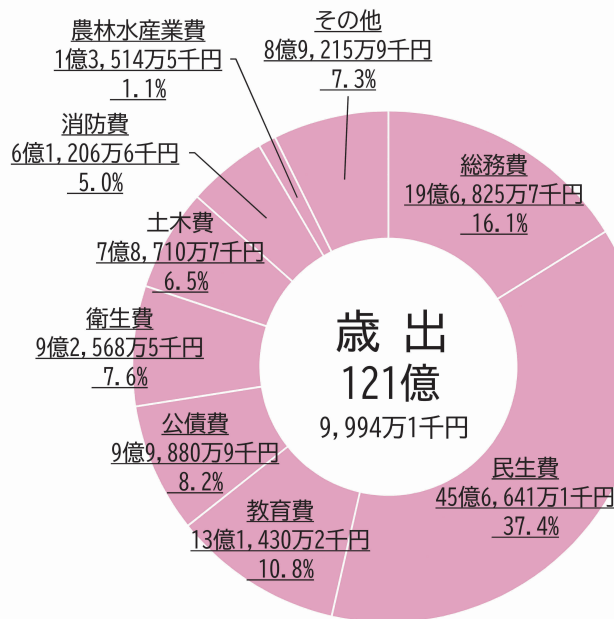
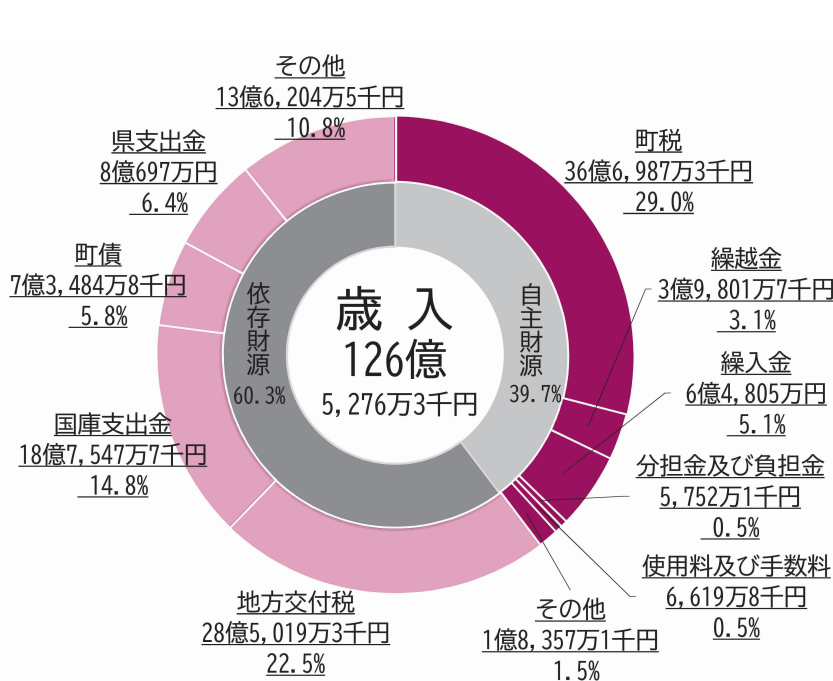


令和6年度 決算報告

令和6年度決算が9月議会定例会で承認されました。
皆さんからお預かりした税金をはじめ、町のお金をどのように使い、まちづくりに活かしたかを報告します。
問合せ▶企画財政課財政係 ☎295-2112 ㊟324

一般会計

一般会計は、町の行政運営に使われる一般的な経費です。令和6年度一般会計は、歳入（収入）が126億5,276万3千円、歳出（支出）が121億9,994万1千円となりました。令和5年度決算額と比較すると、歳入で4億5,004万4千円、3.7%の増となり、歳出で3億9,523万9千円、3.3%の増となりました。



▶町民1人あたりに使われたお金
38万2,863円

※一般会計歳出を令和7年3月31日現在の人口
31,865人で割った金額。

特別会計

特別会計は、特別な財源を特定の支出に充てて経理を行うものです。

特別会計歳入出・企業会計収支

(単位/千円)

区分		歳入（収入）	歳出（支出）	差引額
国民健康保険特別会計		39億3,729万6	38億4,715万5	9,014万1
後期高齢者医療特別会計		6億184万4	5億9,571万3	613万1
介護保険特別会計		32億4,636万2	31億3,680万3	1億955万9
農業集落排水事業会計	収益的収支	4,110万7	3,907万1	203万6
	資本的収支	1,684万1	2,044万0	△359万9
水道事業会計	収益的収支	8億6,113万4	7億1,865万9	1億4,247万5
	資本的収支	8,653万8	3億6,612万2	△2億7,958万4

都市計画税の用途

都市計画税は、総合的なまちづくりを目的として行う都市計画事業等に使用されています。
令和6年度の用途は右の表のとおりです。

(単位/千円)

事業名	事業費	都市計画税充当額
都市計画事業に係る公債費	1億2,420万2	1億1,052万0

令和6年度の主な事業

里山の環境を活かした都市基盤を創る	
コミュニティバス運行事業	2,777万7千円
町道整備事業	8,294万0千円
安全で快適なまちを創る	
防犯灯整備事業	2,599万0千円
通学路安全対策事業	261万8千円
健やかで安心に暮らせるまちを創る	
小中学校給食費無償化事業	9,594万2千円
保育所等給食費無償化事業	1,253万3千円
放課後児童健全育成事業	5,856万6千円
健康ウォーキング事業	373万4千円

活力と夢のある産業のまちを創る	
毛呂山町産業まつり補助金	510万0千円
企業誘致促進条例奨励金	9,017万1千円
豊かな心と学びのあるまちを創る	
中学生海外留学事業	203万5千円
国内交流事業	116万1千円
小中学校体育館空調設備等設置事業	3億2,568万3千円
みんなで築くまちを創る	
地域コミュニティづくり補助金	61万0千円
福祉会館昇降機設置事業	7,060万2千円
定住促進事業	
毛呂山町未来応援奨学金返還支援補助金	586万8千円
毛呂山町定住促進補助金	1890万0千円

健全化判断比率

平成19年度決算から財政健全化法に基づき、「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4つの指標の公表が義務付けられました。

毛呂山町の健全化判断比率は、いずれの指標も早期健全化基準を下回り、数値的にも健全性を示しています。



用語説明

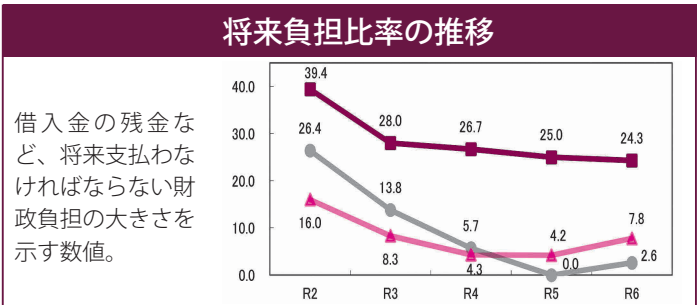
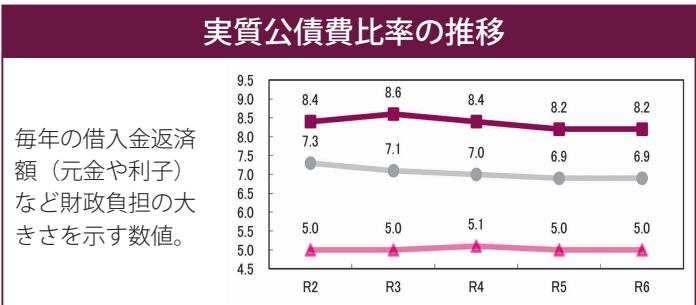
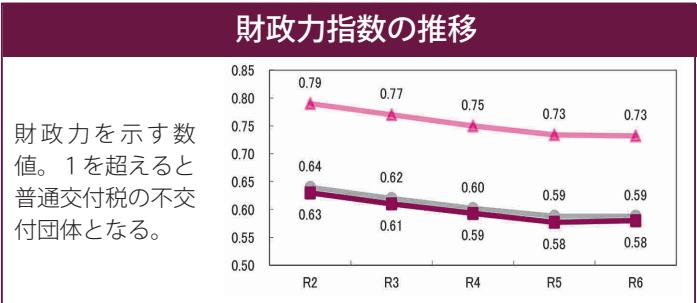
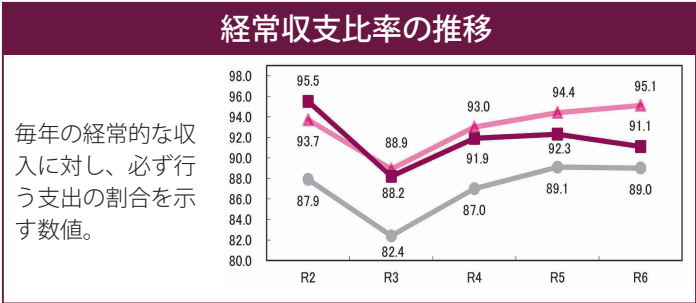
- 実質赤字比率**
一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率
- 連結実質赤字比率**
全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率
- 実質公債費比率**
一般会計等が負担する元利償還金および準元利償還金の標準財政規模に対する比率
- 将来負担比率**
一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

令和6年度健全化判断比率 (単位/%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
毛呂山町	—	—	8.2	24.3
早期健全化基準	13.86	18.86	25.0	350.0

※実質赤字比率と連結実質赤字比率については、黒字の場合は算定しません。

各種財政指標の推移



もろ丸家の家計簿



令和6年度の一般会計決算を、家庭の1か月分の家計簿に例えてみました。収入・支出ともに町の令和6年度決算額を3,000分の1の額にして、12月で割った金額です。令和6年度は、小中学校体育館空調設備等設置工事などに伴う町債の借入れや、町税や地方交付税の増額等による収支の増減が見られます。

月収約31万の家計に例えると...

収入

(令和5年度からの増減)

支出

(令和5年度からの増減)

現金収入合計	314,000円	(+11,000円)	生活費用合計	228,000円	(+5,000円)
給料	102,000円	(+2,000円)	食費	56,000円	(+1,000円)
▶町税			▶人件費		
親からの仕送り	192,000円	(+11,000円)	医療費、学費	77,000円	(+6,000円)
▶地方譲与税、地方交付税、国・県支出金など			▶扶助費		
パート収入	9,000円	(0円)	光熱水費・日用品の購入	40,000円	(+2,000円)
▶使用料および負担金、財産収入など			▶物件費		
その他収入	11,000円	(△2,000円)	自治会費、保険料など	55,000円	(△4,000円)
▶繰越金			▶補助費など		
預金の取り崩し	18,000円	(△8,000円)	子どもへの仕送り	36,000円	(0円)
▶繰入金			▶繰出金		
ローン借入れ	20,000円	(+11,000円)	ローン返済	28,000円	(△1,000円)
▶町債			▶公債費		
収入合計	352,000円	(+14,000円)	自宅の増改築・修繕	28,000円	(+9,000円)
預金残高	757,000円	(+13,000円)	▶維持補修費、普通建設事業費、災害復旧費		
			預金など	18,000円	(△3,000円)
			▶積立金、投資および出資金・貸付金		
			支出合計	338,000円	(+10,000円)
			ローン残高	2,397,000円	(△80,000円)

※預金残高およびローン残高は、町の令和6年度末現在の基金（財政調整基金とその他特定目的基金）および町債残高の3,000分の1の額です。



歳入・歳出の用語説明

地方譲与税・地方交付税	町の財政規模などに応じて譲与、交付されるお金
国・県支出金	特定の目的のために国や県から支出されるお金
町債	町が銀行などから借り入れるお金
扶助費	子どもや高齢者、障害者などに対して行っている扶助（援助）にかかるお金
物件費	消耗品や印刷代、光熱水費などにかかるお金
補助費など	団体に対する助成金や一部事務組合への負担金など
公債費	町が借り入れたお金の返済金

令和6年度は、給料や親からの仕送りが増えましたが、一方で医療費や学費、自宅の修繕などの支出が増え、預金の取り崩しやローン借入れにより収入を確保し、家計をやりくりできました。

今後も厳しい状況が続くなか、引き続き節電や節水に努めるほか、その他の出費についても無駄がないか見直したり、必要な改修についても時期や内容を見直したりして家計のやりくりにも努めます。

